

平成二十八年 造幣局桜の通り抜け

俳句入選句

辻田 克巳 選

特
選

(三句)

短冊を読み花人の心読む

大阪府大阪市

小林 壽雄

【評】

ひとの句をみて散文的な意味だけを解ったと思
い込む浅はかさ。「花人」の心まで読みとってこそ
の俳句としみじみ思う作者。桜もそれでほっとする。

盲導犬花の筵に正座して

兵庫県加東市

桂 鴻志

【評】

犬はまこと不思議な動物。どうしてあんなに人間に
忠実なのか。お花見のお手伝いまでして。目の不自由
な人と本来何の関りもなかった筈なのに…。

縁ありて家族となって通り抜け

大阪府大阪市

木綿 洋美

【評】

なぜ家族なのかを改めて思えば答は上五の様にしか
いえない。年一度桜の季だけの「通り抜け」を季語に
解して読んだ。先人の代からの主張でもある。

入選

(五句)

さくらさくまいとしひとつとしをとる

滋賀県大津市

青木 一浩

ポツカリとあなたのいない花筵

大阪府松原市

塩谷 聡子

雨意誘ふ花の名雨情枝垂かな

大阪府大阪市

高木 示生

花見船扁平となり橋くぐる

大阪府大阪市

向 美紗子

外つ国の花人を呼ぶアナウンス

大阪府寝屋川市

大西 陽子

佳作

(二五句)

老いぬればしみじみと見る桜かな

滋賀県草津市

中村 ケンジ

通り抜け予後の一步に花仰ぐ

兵庫県西宮市

松林 和生

一陣の風の強さや花吹雪

大阪府大阪市

上松 英夫

異国語の飛び交う花の拡声器

大阪府大阪市

村田 照枝

野球帽の無職あつまる花筵

奈良県北葛城郡

福武 京子

花吹雪両手広げて受け止める

大阪府大阪市

佐竹 正子

夜桜の門を閉ぢたる鉄の音

大阪府大阪市

圓山 啓子

太閤も現われそうな通り抜け

大阪府松原市

和氣 慶一

花の昼水を積み込む屋形船

大阪府大阪市

堀脇 清美

胸像は初代局長通り抜け

大阪府大阪市

堀脇 昌子

同窓の喜寿の二人に花吹雪

大阪府大阪市

藤田 千恵子

たこ焼のくると花の通り抜け

兵庫県神戸市

木内 美恵子

中国ゆ友あり雨の通り抜け

大阪府池田市

松原 志朗

門を出て互ひに払ふ花の塵

兵庫県神戸市

品川 富美子

金婚の喜寿の花見が叶ふとは

大阪府大阪市

高木 節子

花冷や短冊ゆれて文字読めず

大阪府大阪市

吉川 小静

通り抜け去年の佳人とまた会いぬ

大阪府寝屋川市

大西 孝雄

アドリブのようにキスされ花ふぶき

大阪府大阪市

木野 俊子

花を撮る女人を写す男かな

兵庫県姫路市

木村 博昭

桜めで艶歌一節通り抜け

大阪府大阪市

演歌艶歌好き人

雨振りてほのかにかほるさくらかな

大阪府大阪市

安部 竜馬

心地好^よき花見疲れの軒かな

京都府八幡市

草信 勝之

やっと来た九十五才通り抜け

大阪府堺市

早川 寿美子

花の句を吊る木吊らぬ木通り抜け

兵庫県神戸市

出店 智恵呼

夜風湧き残りの花をさらひけり

京都府長岡京市

津田 充子

選者吟

辻田 克巳

満開の桜静かに雨唸ふ

紫雲より濃く花の雲中之島

満月として円かなり花の上

花冷のビルの一階のみ点す

時計の針一本になる花の昼